

平成29年度 中央区まちづくり事業進捗状況一覧

No.	事業名	予算額	実施状況	事業の検証
1	みんなのまちづくり情報発信事業	3,449 千円	<p>■まちづくりセンター通信 ※5区協同事業 地域および各種団体等が主体となって取組んでいる様々なまちづくり活動や、地域担当職員の地域における活動を紹介。</p> <p>■中央区trip 中央区内外の方に、中央区の人や地域・街の魅力を紹介。 平成29年度は1回発行。(1月)</p>	<p>・中央区Trip 未実施</p>
2	中央区お宝探検事業	900 千円	<p>■「近未来キャラバン」と銘打ち、小中学生18名により7月28日から事業を開始した。 7/28 第1回 取材・カメラ撮影セミナー 8/4 第2回 キャッチコピーセミナー・現地取材 8/27 第3回 キャッチコピー作成・WEBデザインセミナー 9/10 第4回 WEBページ作成・プレゼンセミナー 10/8 第5回 地域へのプレゼン大会</p>	<p>・全5回の事業が完了し、「黒髪校区ポータルサイト」が完成。(http://kurokami-portal.com/) ・地域へのプレゼン大会では約40名の参加者があり、子ども達の発表により地域の方々への地域の魅力を発信。さらにホームページの公開により校区のみならず全国へも情報を発信。 ・地域の情報発信の手法としてホームページ等のデジタル素材を用いることで幅広い世代への発信が可能となった。今後、ホームページのみならず様々な手法による情報発信のあり方を検討・実践していく必要がある。 ・また、近未来キャラバンにおいて多くの企業の参画を受けたところ。ひとつの目的達成に向け学校・企業・行政・地域が連携した事業内容となった。地域課題解決の手法として今回の枠組みの活用も検討を行う。</p>
3	井手の魅力再発見事業	1,500 千円	<p>■中央区内を流れる白川や大井手への関心を高め、地域のまちづくりに活かしていく。平成29年度は、、大井手をテーマとした学習会「大井手の楽校(がっこう)」や平成28年3月作成の大井手フィールドノート活用し大井手の魅力を伝え、また、大井手の取水元である白川を含めた事業を実施する。(まちづくりセンター)</p>	<p>・未実施</p>
4	【新規】 「からだいきいき健康フェスタ」	1,500 千円	<p>■中央区の施設である総合体育館・青年会館を健康発信拠点施設として位置づけし、運動を通じた区民の健康増進や中央区の活性化を目指すもの。(保健子ども課) 【開催日時】平成30年1月21日(日) 午前の部・・・9:00～11:30 午後の部・・・13:30～16:00 【参加対象】中央区在住の方、もしくは中央区に通勤する方、通学する小学生および保護者 【参加定員】午前、午後ともに大人50名、小学生50名 【実施内容】足型測定、身長・体重測定、体力測定、体験プログラム、足型測定講話、結果説明等</p>	<p>・未実施</p>
5	【新規】 中央区スポーツ交流事業	300 千円	<p>■「第1回熊本中央区親睦グラウンドゴルフ大会」を実施 日時 平成29年11月5日(日) 8:30～ 場所 熊本大学大江グラウンド 主催 熊本市中央区体育協会・熊本市中央区役所</p>	<p>・中央区管内14校区から24チーム、約150名の選手が参加、中央区民・校区間の交流の場となった。 ・大会の運営に当たっては、中央区スポーツ推進員の協力が得られ、また、熊本大学からのグラウンドの無償提供、中央区管内の企業からの商品の提供など、地域が丸となり大会を盛り上げることとなった。 ・地域スポーツの定着による「区民の心身の健康増進」にもつながる事業。参加者からは、継続開催を強く望む声が聞かれた。将来的には、実行委員会の自主運営を目指すのが、定着するまでは継続して実施。</p>
6	【新規】 中央区地域活性化支援事業	5,102 千円	<p>■地域活動への参画や、担い手不足という地域の共通課題の原因の1つとして、市政および地域の情報が、きちんと市民に伝わっていない、あるいは、若い世代は、まちづくりや地域の活動に参加したくても、仕事などの都合で参加できないということがあげられる。 そのため、必要な情報を必要なときに必要な人に届けるとともに、気軽にまちづくりに関わることができるよう、LINEを活用した情報発信の仕組みづくりについて検討を実施する。</p>	<p>・来年度以降の展開を見据え、下半期のトライアルを実施予定。</p>
7	【事業拡大】 中央区地域コミュニティづくり支援補助金	2,060 千円	<p>■魅力あるまちづくりを推進するため、校区自治協議会や町内自治会等が主体的かつ継続的に、様々な分野の地域課題の解決や地域コミュニティの活性化に向けた取り組みを財政的に支援する。また、熊本地震による地域の復興にも役立つものである。 ・企画提案書提出団体:18 採択団体:15 ・補助対象経費合計:3,347,455円 補助金額合計:1,661,000円</p>	<p>・本補助金は本来、地域の魅力アップや先駆性など、広く地域の課題に対応するモデルとなるような事業に対する助成制度であったが、実際には単なる備品購入や更新に使われるケースが多く、そのニーズも高い。 ・この補助制度の本来の目的を明確にするともに、地域活動のモデルとなるような事業の発掘を促すために、対象団体や補助率、補助上限額を見直す必要を、併せて、地域ニーズの高い備品購入等についても支援を続けていくような補助制度の見直しが必要。</p>
8	水前寺賑わいづくり支援事業	1,300 千円	<p>■区のまちづくりの大きな課題である水前寺界隈の活性化に向けた地域の取り組みを支援。平成29年度は、平成28年度に続いて新水前寺駅近くにある「戸井の外公園」会場と熊本市を代表する観光地「水前寺成趣園」への玄関口である水前寺参道でのイベントを実施した。 ・実行委員会:7回開催(事前会議を含む) ・祭り実施日:平成29年10月29日(日) ・来場者数:延べ8,000人(11/13の会議で確定させる予定)</p>	<p>・現在まで協賛金の合計額はでていないが、昨年よりも増額の見込み。行政からの負担金減額に伴う財源の確保が必要なことから、新たな協賛企業の取り込みやコストダウン等の見直しが必要。 ・はたらく展示車両(警察、消防、自衛隊)については、今年度も子どもから大人まで好評であった。中央区としても、継続した働きかけを行う。 ・今年度はまつりを通して地域PRブースを設置。白山校区、出水南校区、出水校区が参加。(歴史や特産品、校区カルタなどを実施)大変盛況で地域の魅力を再発見できるいい機会となった。 ・現在、中央区で事務的作業をほぼ行っているため(会議議事録や案内文等の作成)、地域移行に向けて事務分担を精査する必要がある。</p>
9	【事業拡大】 中央区地域防災支援事業	3,189 千円	<p>■実施状況 ・「中央区親子ぼうさい教室」開催 9/24 新市街アーケード 参加者:延べ親子19組(58名) ・「中央区そなえる防災講座」11/6現在:2回開催 参加者延べ70名 ※今年度全6回実施予定 ・防災出前講座 11/6現在:開催回数9回 参加者延べ約290名 ・校区等防災行事参加 11/6現在6回 参加者延べ約800名 防災コーナーの運営等 ・自主防災クラブ関連 今年度結成自治会数:17(11/6現在) 結成促進・関連行事等参加 ・地域版ハザードマップ 今年度作成取組み団体数:6団体 作成作業(まち歩き参加)</p>	<p>・本事業については、参加者・校区団体等からも防災意識の啓発・地域防災力の強化のための良い機会として捉えられており、地域防災の要となる「地域の人の顔が見える関係づくり」にもなることから需要は高い。 ・中央区主催の防災事業(親子ぼうさい教室・そなえる防災講座)については、参加者からの評価は良好であり、親子参加型のイベントや識者からの専門的な講演として、常に区民に向け啓発している状況を作っているものの、今後は、避難所運営に関する実践型プログラムなど、住民・地域のニーズが高いものを考慮し、事業内容の検討・見直しも必要と考える。 ・また、事業費の支出元についても、市の復興基金の活用を前提に見直しを図る。 ・そなえる防災講座については、参加年齢層の偏り(高齢者層が多い)があることから、SNSを通じて情報発信を行うなど、広い年齢層に周知するための方策も検討する必要がある。</p>
10	中央区まちづくり懇話会	700 千円	<p>■平成29年度まちづくり懇話会を取り巻く環境の変化に伴い、懇話会のあり方を見直した。 ①地域担当職員の活用 ②懇話会における協議の活性化 ③懇話会委員の選任分野の見直し ④懇話会の周知方法の工夫 ・今年度は、ワークショップ形式での実施。中央区の特徴や課題、中央区のこれからのまちづくりに関する専門的見地から意見を徴集した。</p>	<p>・見直しにより、委員間の活発な意見交換が行われ、一定の効果が見られたが、より区政に有用な意見を吸い上げる会議体とするためには、今後も懇話会のあり方について継続して検討が必要。</p>